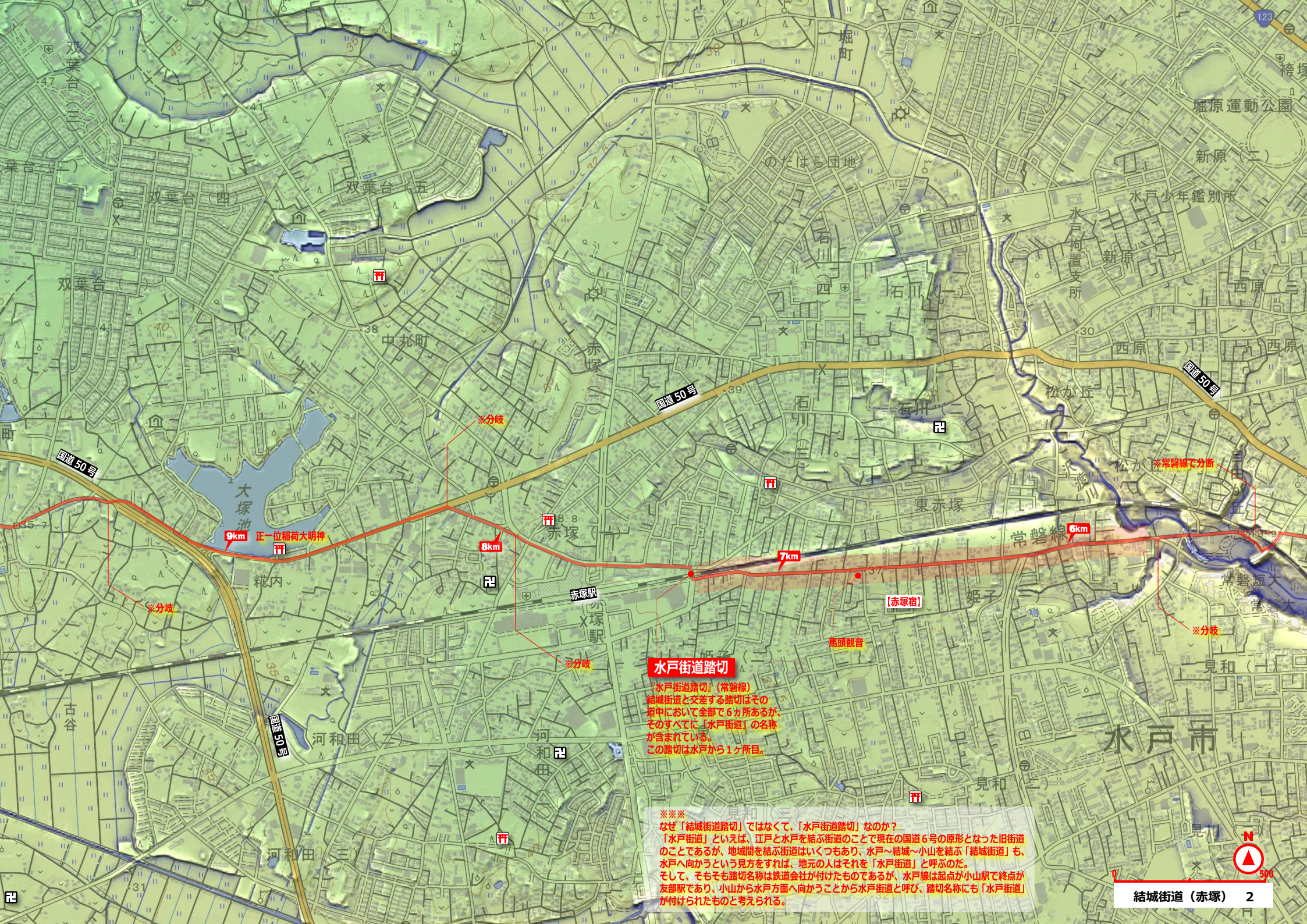




水戸街道踏切

「水戸街道踏切」(常磐線)
結城街道と交差する踏切はその
道中において全部で6カ所あるが、
そのすべてに「水戸街道」の名称
が含まれている。
この踏切は水戸から1ヶ所目。

なぜ「結城街道踏切」ではなくて、「水戸街道踏切」なのか？

「水戸街道」といえば、江戸と水戸を結ぶ街道のことで現在の国道6号の原形となった旧街道のことであるが、地域間を結ぶ街道はいくつもあり、水戸～結城～小山を結ぶ「結城街道」も、水戸へ向かうという見方をすれば、地元の人々はそれを「水戸街道」と呼ぶのだ。

そして、そもそも踏切名称は鉄道会社が付けたものであるが、水戸線は起点が小山駅で終点が友部駅であり、小山から水戸方面へ向かうことから水戸街道と呼び、踏切名称にも「水戸街道」が付けられたものと考えられる。